

# 刈払い機の安全対策

刈払い機による農作業事故件数が近年増加しています。「ちょっとだけ」や「もう少しだけ」の作業が事故を誘発します。油断せずに安全対策を常に心がけましょう。

## ✓ 斜面・法面で作業をする場合は足場を確保。

斜面には小さな段を設けるなど足場を確保しましょう。作業は、谷方向に進むのではなく、等高線上に足場を確かめながら行います。

## ✓ 回転する刃や飛散物から身を守るため防護を徹底。

保護メガネ、ヘルメット、安全靴、すねあて、作業手袋（軍手は×）を身につけましょう。

また、刈払い機には飛散防止カバーをつけましょう。

## ✓ 作業前には現場の確認。

石や空き缶などのゴミが刈刃にあたると高速で飛散し危険です。草むらの中に隠れている構造物、切り株や排水の穴などの位置も確認しましょう。

## ✓ 往復刈りは危険。

回転する刈刃が障害物や地面と接触すると、回転方向と逆方向（右側）に跳ね返る「キックバック」が起これば危険です。往復刈りではなく、左側でのみ草を刈るようにしましょう。



## ✓ 作業時以外はエンジン停止。

刃物に草やヒモが巻き付き回転が止まった場合、エンジンを止めずに取り除くと、再び回転しはじめ手を切る恐れがあります。

引用：刈払い機の正しい使い方

（一般社団法人 日本農業機械工業会 刈刃機部会）

峡南農務事務所 農業農村支援課  
（峡南地域普及センター）生産振興担当

055-240-4131